

業 務 委 託 内 訳 書								
費 目	工 種	種 別	細 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
作業費	(工種区分:点検工)							場所区分: 一般交通影響あり(2)
	点検工			式	1			
		管口カメラ点検工	3号マンホール以下、深さ3m以下、管径600mm未満	基	50			第1号明細表
	報告書作成工			式	1			
		報告書作成工(点検工)	管口カメラ点検工	基	50			第2号明細表
	仮設工			式	1			
		交通管理工		式	1			第3号明細表
	直接作業費計							
	共通仮設費計							
		共通仮設費	(※報告書作成工除外)	式	1			

業 務 委 託 内 訳 書								
費 目	工 種	種 別	細 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	純作業費							
		現場管理費		式	1			
	作業原価							
		一般管理費等計		式	1			
		一般管理費	(調整額含み、契約保障費除く)	式	1			
		契約保証費		式	1			
	作業価格							
	消費税等相当額			式	1			
作業費計								

# 間 接 業 務 明 細 書

## 1. 設計条件

((公社)日本下水道管路管理業協会発刊「下水道管路管理積算資料2023」より)

工種	点検工	場所区分	一般交通影響あり(2)	前払い率	補正しない	契約保証区分	発注者が金銭的保証を必要とする
----	-----	------	-------------	------	-------	--------	-----------------

## 2. 算出基礎

$$\begin{aligned} \cdot \text{共通仮設費} &= \text{対 象 額} \times \text{共 通 仮 設 費 率} \\ &= \\ &= \end{aligned}$$

千円単位

$$\begin{aligned} \text{対 象 額} &= \text{直 接 作 業 費 計} - \text{報 告 書 作 成 工 費} \\ &= \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{共 通 仮 設 費 率} &= \text{対 象 額 による 率} \times \text{地 域 補 正 係 数} \\ \text{P.17} &= \\ \text{表1-4.3より} &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \cdot \text{現 場 管 理 費} &= \text{対 象 額} \times \text{現 場 管 理 費 率} \\ &= \\ &= \end{aligned}$$

千円単位

$$\begin{aligned} \text{対 象 額} &= \text{純 作 業 費} \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{現 場 管 理 費 率} &= \text{対 象 額 による 率} \times \text{地 域 補 正 係 数} + \text{冬 期 補 正 値} \\ \text{P.22} &= \\ \text{表1-4.11より} &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \cdot \text{一 般 管 理 費} &= \text{対 象 額} \times \text{一 般 管 理 費 率} \\ &= \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{対 象 額} &= \text{作 業 原 価} \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{一 般 管 理 費 率} &= \text{対 象 額 による 率} \times \text{前 払 金 補 正 係 数} \\ \text{P.26} &= \\ \text{表1-5.1より} &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{契 約 保 証 費} &= \text{対 象 額} \times \text{契 約 保 証 に よ る 補 正 率} \\ &= \\ &= \end{aligned}$$

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]